

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                    |
| 2. 体験した事例の名称    | 救助訓練中のロープ踏みつけにより転倒、負傷 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 疲労蓄積が疑がわれる。           |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 日々の訓練で疲労が蓄積し、注意を欠く。   |

【体験した事例の直接的な原因について】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

|                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成27年4月21日 午後3時頃     |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：ほふく救出煙道           |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。      |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 軽傷の怪我                |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 転倒                   |
| 7. 事例体験時の活動                      | 演習訓練、[救助（大会に向けた）]    |
| 8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか         | その他：救助技術指導会の種目の訓練実施中 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した              |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                   |                                                               |
|-------------------|---------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[30]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防副士長]<br>同様の活動 [初めて]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]        |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]        |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                               |

11. 事例発生時の経過。

|      | 誰が(何が) | なにをした   | その他・備考など |
|------|--------|---------|----------|
| 経過1  | 当事者A   | 転倒し負傷した |          |
| 経過2  |        |         |          |
| 経過3  |        |         |          |
| 経過4  |        |         |          |
| 経過5  |        |         |          |
| 経過6  |        |         |          |
| 経過7  |        |         |          |
| 経過8  |        |         |          |
| 経過9  |        |         |          |
| 経過10 |        |         |          |
| 経過11 |        |         |          |
| 経過12 |        |         |          |

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。 足元の安全が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

・訓練前の準備運動をしっかり行い、休憩時間を取り、集中力を切らさないよう心掛ける。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

平成27年4月21日午後3時頃

No.1



テーブル上で、煙道に進入するために補助者がロープを使用し、救助者に命綱を取り付ける。

No.2



命綱を取り付けた後に、救助者は前方の煙道に向かい  
補助者はそれを後から追いロープを煙道手前に置く

平成27年4月21日午後3時頃

No.3



右足がロープ上にある

進行先のすぐ先にはロープを置いてしまい、たごまったロープを右足で踏んでしまう。

No.4



体勢を整えようと左足を出し捻る

右足がロープですべり、バランスを崩す。体勢を整えようと左足を出す左足首を捻ってしまったもの。